

展示作品（額装品）飾付作業手順(ワイヤー使用時)

シティギャラリーをご利用いただきましてまことにありがとうございます。
展示室で額装などの作品を壁にかけるときの作業手順について写真でご説明します。

『展示室ワイヤーの取り扱い』

【ハンガーセット】



各展示室に備え付けております。

(写真は第1展示室のもの)

【フック】



展示壁ピクチャーレールに付けるもの

【ワイヤー】



作品をつるすためのもの

【ハンガー】



作品をかけるもの

【その他作業で使用するもの】



移動式の高所作業台です。3人1組で安全に使用して下さい。

【工具類貸し出しセット】

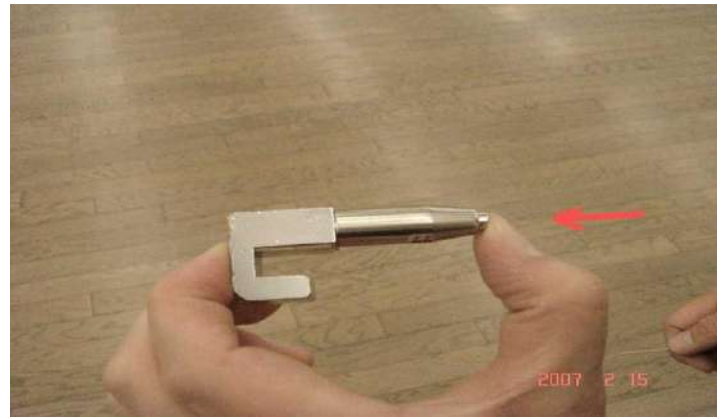


工具類、駐車券などが期間中に必要なものが入っています。欠品がないかご利用初日に必ず中身を確認ください。(写真は予備室用)

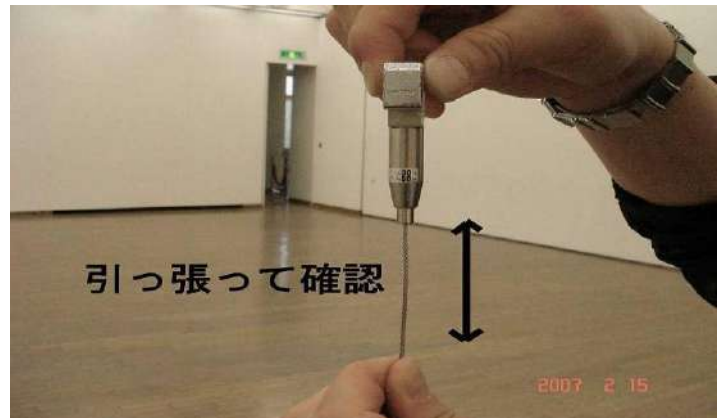
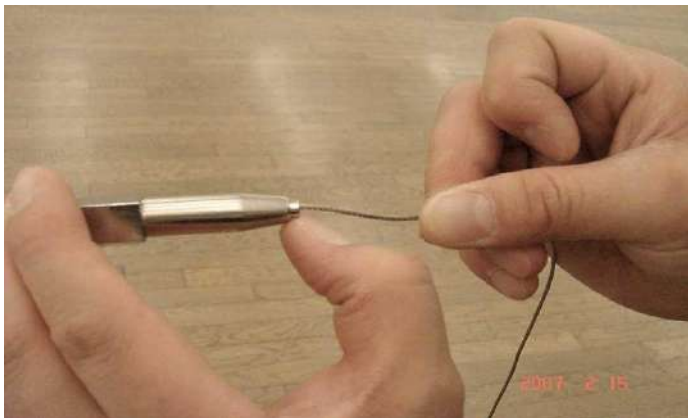
まず、フックにワイヤーを取り付けます。



フックの下に突起があります。

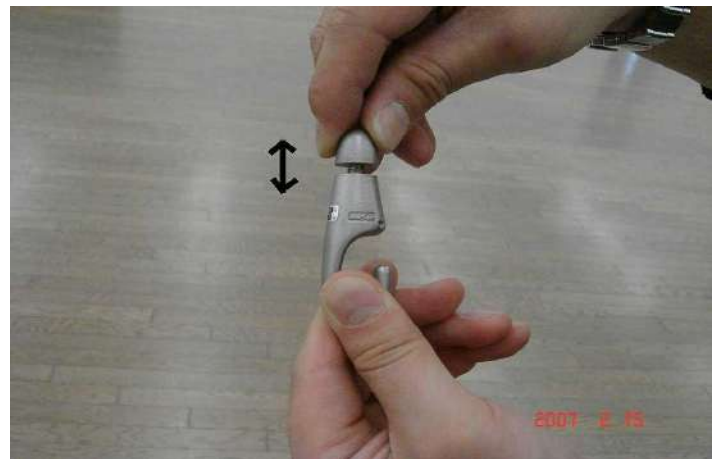
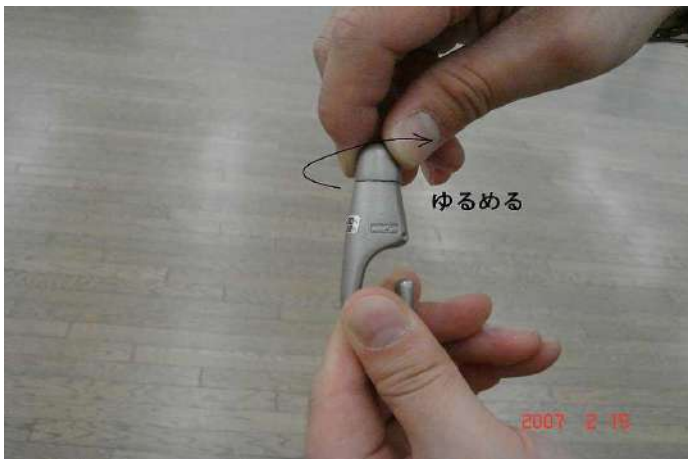


これを押しすと中に引っ込みます。



これを押し込みながらワイヤーを奥まで差込み、手を放すとワイヤーがロックされます。（引っ張ってロックを確認する）
※作品が落下する恐れがあります。必ず奥まで差し込んでください。

そしてフックの反対側のワイヤーの先にハンガーを差し込みます。



ハンガー上部がねじ状になっていますので、これを緩めてください。
右上写真のように上下が離れて、押し込めるようになります。



これを押し込みながらワイヤーを通します。上の写真のようになります。

※吊り位置を決めたら必ずハンガーのねじ部分を回してロックしてください。

ピクチャーレールにフックをかけて、作品を吊り込みます。（写真は第1展示室）【ピクチャーレール】



ローリングタワー（移動式高所作業台）は危険ですから必ず3人一組以上でご使用ください。移動の際は必ず声を掛け合って十分注意してください



※ 額の裏側の形状は作品ごとに異なります。適切な方法で吊り下げてください。

作品を吊りこみましたら、作品の傾斜を少なくし、作品を安定させるため、ワイヤーを壁面に固定します。（必ずやらなければいけないということではありません。）

『ガンタッカーの取り扱い』

【ガンタッカー】

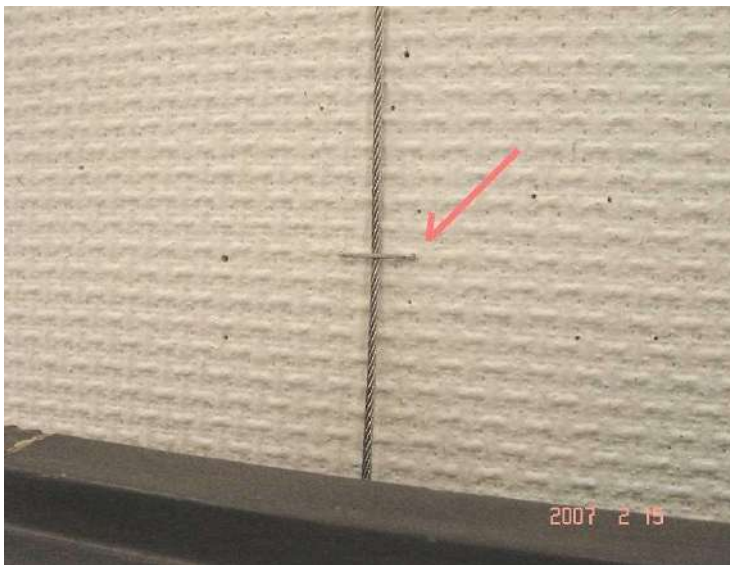


ワイヤーを固定するための道具です。
(工具類は備え付けのクリアケースに入っています。)

ワイヤーの上から適当な高さで打ち込みます。これで額が浮かないように固定できます。



ワイヤーの上から垂直にあてて



強くレバーを押し込みます



ガンタッカーの針が残ります

作品が安定し、傾きが抑えられました

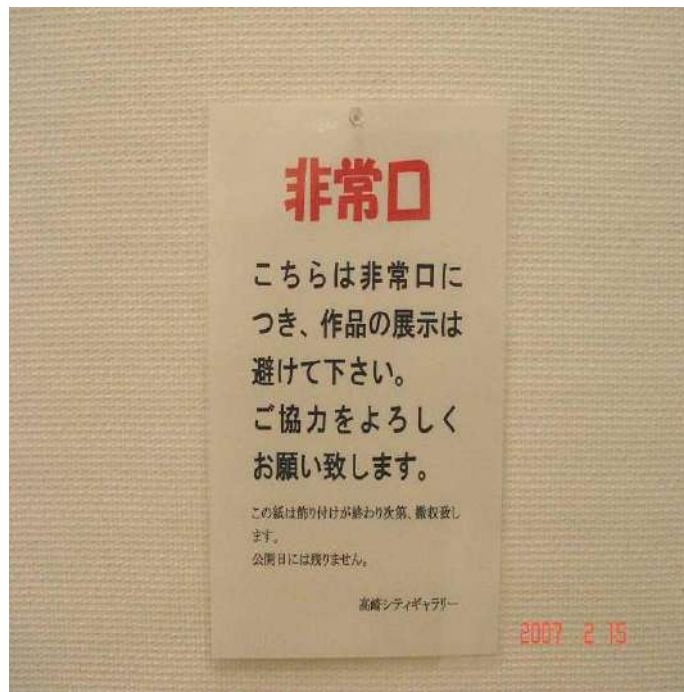
※額の撤去や固定後、再度ワイヤーの位置を動かすときは、必ずガンタッカーの針を抜いてから動かしてください。
針を打ったままワイヤーを引っ張ると、ワイヤーの一箇所に力がかかり、タッカー針が飛びぬけて危険なうえ、ワイヤーを傷めます。

タッカーの針はプライヤーで抜いてください。抜いた針は危険ですから備え付けのカップに入れてください。



なお、消防署の指導により、各非常口には作品を飾らないようご協力をお願いします。

【非常口】 ※写真は第1展示室のもので



扉がいつでも開閉でき、避難誘導ができるようにしておいてください。

案内が貼ってあります（公開時は外します）

『ピンピッターの取り扱い』

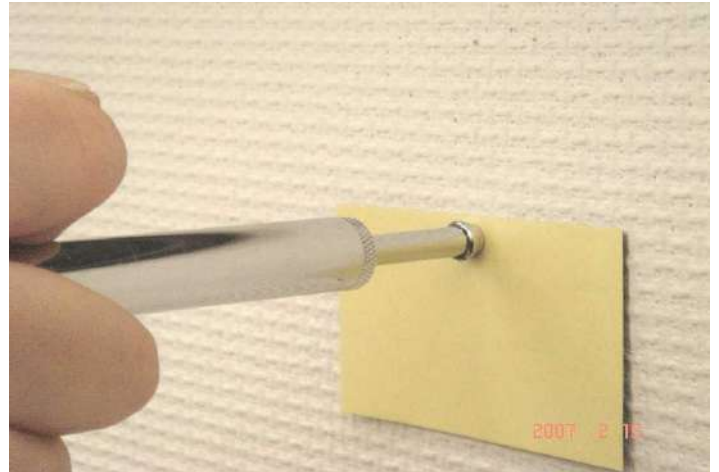
【ピンピッター】



キャプション（作品名）等を虫ピンでつけるときに使います。



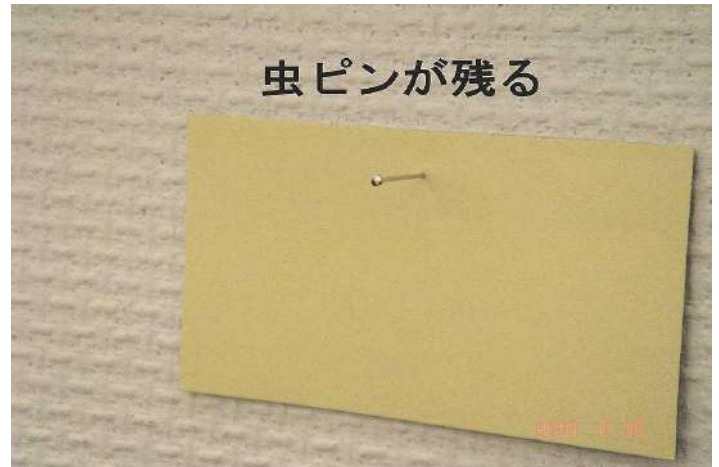
虫ピンの頭を下にして1本だけいれます。



キャプション（作品名）等の上から押し当てます。



まっすぐに強く押し込みます



虫ピンが残り、キャプション（作品名）等が固定されました。

※一度に2本以上入れないで下さい。故障の原因となります。抜くときは、プライヤーを使用して下さい。一度使用したピンは中で折れたり曲がったりして危険ですので、再使用しないで下さい。抜いたピンは、備え付けのカップに入れて下さい。

シティギャラリーは皆さんのための施設です。安全・快適に利用できますよう利用規則を遵守いただき、次のお客様のために原状復帰にご協力ください。その他、展示等についてのご質問やご相談はシティギャラリーまでお問い合わせ下さい。

高崎シティギャラリー

電話027-328-5050